

各位

一般社団法人ナレッジキャピタル
株式会社KMO

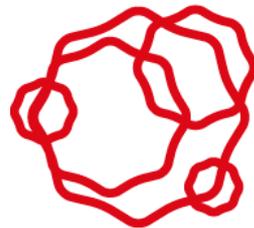


グランフロント大阪 知的創造拠点「ナレッジキャピタル」

「Knowledge Capital Festival」

『World OMOSIROI Award 1st.』の受賞者 5 人が決定！

一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:宮原秀夫)なら
びに株式会社 KMO(代表取締役社長:間瀬豊)は、3月26日
(木)から3月29日(日)の4日間、グランフロント大阪うめき
た広場や北館1階ナレッジプラザなど各所で開催する
「Knowledge Capital Festival」に先立ち、メインイベントの1つ
である『World OMOSIROI Award 1st.』の受賞者5人を決定しましたので、お知らせします。



**World
OMOSIROI
Award
1st.**

『World OMOSIROI Award 1st.』は、ナレッジキャピタルと関わりのある有識者がノミネーターとなり、ナレッジキャピタルのコアバリュー「OMOSIROI」を体現する面白い「人」をノンジャンルで選出するアワードです。初開催となる今回は、ナレッジキャピタルに関わるさまざまな分野の第一人者がノミネーターとなり、約100人の候補者から「みんなの未来を面白くする人」を選考基準に受賞者が選出されました。メディアアーティストのクリス スグルーさん、明和電機代表取締役社長の土佐信道さん、安泰寺住職のネルケ無方さん、クリエイティブディレクターの原野守弘さん、手妻師・VRプロデューサーの藤山晃太郎さんの5人が「World OMOSIROI Award 1st.」を受賞しました。



トロフィー制作のヤノベケンジ氏

(受賞者の詳細については、次ページをご参照ください。)

本アワードの受賞者は、「ナレッジキャピタルフェスティバル」会期中の3月28日(土)13:00より、うめきた広場テントステージで開催する『World OMOSIROI Award 1st.』の公開プレゼンテーションおよび授賞式に出席[※]するほか、3月29日(日)15:30より開催する『こたつ会議 SPECIAL』トークセッションにも参加いたします。

尚、受賞者には、現代美術作家のヤノベケンジ氏が本アワードのために制作したオリジナルトロフィーが授与されます。

※クリススグルーさんは、ビデオレターでの出演となります。

以上

<受賞者プロフィール・受賞理由> ※敬称略、五十音順

クリス スグラー / メディアアーティスト

アーティスト・プログラマー。インタラクティブインストール、オーディオビジュアルパフォーマンスや実験的インターフェースを開発。遊び心と好奇心による技術実験や、人工生命・アイトラッキング・目の錯覚などの調査より作品を生み出す。パーソンズスクールオブデザイン美術修士。

『Delicate Boundaries』はVIDA(Art and Artificial Life International Award)より名誉コメントを受け、Share Festivalにて1位受賞。2009年『EyeWriter』—ALS患者のための低コストの視線制御描画ツールの開発支援に協力。インタラクティブカテゴリーのデザインオブザイヤー賞・Future Everything Award・アルスエレクトロニカのゴールデンニカ賞を受賞。現在、パーソンズスクールオブデザインのデザイン・技術部門で教鞭を取る。



受賞理由: 自分の手足という人間が一番見慣れたものにダイレクトで視覚的違和感を施すことによって、見る者にトラウマを与えるという手法で、数多くの作品を発表している。シンプルでありながら抜群のインパクトであり、そしてそれらは技術と感性を見事に融合して生み出されており、まさにOMOSIROIの原点である。

土佐 信道 / 明和電機 代表取締役社長

青い作業服を着用し作品を「製品」、ライブを「製品デモンストレーション」と呼ぶなど、日本の高度経済成長を支えた中小企業のスタイルで、様々なナンセンスマシーンを開発しライブや展覧会、商品開発など、国内のみならず広く海外でも発表。音符の形の電子楽器「オタマトーン」など制作多数。2013年には文化庁文化交流使の指名を受ける。2013年活動20周年を迎え、赤坂プリッツで20周年記念ライブ、金沢21世紀美術館にて展覧会を開催した。



受賞理由: アートとデザインとエンジニアリングを組み合わせ、他に類を見ない全く新しいスタイルを確立した。その作品からは、熟練された美しさと優れた技術への誇り、スマートさとユーモアを感じることができ、日本のOMOSIROIを世界に発信する大使である。また現在、明和電機のアルバイト出身のアーティストやデザイナーが世界中で活躍し始めており、これは彼のDNAが世界中の若い世代に大きな影響を与えていることの証である。

ネルケ無方 / 安泰寺 住職

1968年、ドイツ生まれ。幼い頃に母と死別、人生に悩む。16才で坐禅と出会い、禅僧になる夢を抱く。1990年に留学生として来日、はじめて安泰寺に上山。1993年にドクターコースを中退、出家得度。大阪城公園での「ホームレス雲水生活」を経て、2002年から安泰寺の住職に。国内外の雲水の指導の傍ら執筆活動を行っている。著書『迷える者の禅修行』『日本人に「宗教」は要らない』『迷いは悟の第一歩』など多数。



受賞理由: 世の中のトレンドに左右されることなく、魂が昂り、活力が漲る。そんな不変の観念に翻訳することができるのがネルケ無方氏のOMOSIROI生き様であり、彼に影響されたOMOSIROI人が今後も増えていくはずである。また、キリスト教という異なる文化の体験を持ちながら禅文化を究極まで突き詰めているという点が、日本の禅文化にとっても大きな意義を期待することができる。

原野 守弘 / クリエイティブディレクター

電通、ドリル、PARTYを経て、現職。代表作に「NTT docomo: 森の木琴」「OK Go + Honda: I Won't Let You Down」「Hotel Japan」など。D&AD イエローペンシル、カンヌ国際広告祭金賞、TED: Ads Worth Spreading など、内外で受賞多数。



受賞理由: 表層的な表現が多い広告分野において、とにかくクリエイティビティが突き抜けている。クライアントを納得させながら、これだけシンプルかつキャッチーであり、そして創造性を感じることができるのは、技術とアートとコマーシャルの見事な融合であり、まさに原野氏のOMOSIROIの力によってなせる業である。

藤山 晃太郎 / 手妻師・VRプロデューサー

演じ手の稀少な古典奇術、手妻(てづま)の実演家。日本唯一のプロマジシャン協会、(公社)日本奇術協会にて、5年連続ベストマジシャンに選ばれる。2013年TEDxTokyo出演。一方で、動画投稿サイトに和文普及動画を投稿し絶大な人気を誇るとともに、ヴァーチャル・リアリティ技術を用いたアトラクションをプロデュースし、アミューズメント施設やイベントに納品するなど、多彩な経歴を持つ。



受賞理由: 美しいほどにシンプルで、かつその驚くべき完成度と詩的な魔法を兼ね備えた藤山氏のパフォーマンスには、最高峰の精神性と創造性を感じることができる。また伝統とテクノロジーとマジックの融合は、今後ますます期待できるOMOSIROI試みである。

<審査員プロフィール> ※敬称略

(選考委員長) 宮原秀夫 一般社団法人ナレッジキャピタル代表理事 元大阪大学 総長

(選考委員) 宇川直宏 現“在”美術家/DOMMUNE代表 京都造形芸術大学情報デザイン学科教授
倉本美津留 放送作家

ゲルフリート・ストッカー アルスエレクトロニカ アーティスティックディレクター

下條真司 大阪大学サイバーメディアセンター教授

Sputniko! マサチューセッツ工科大学メディアラボ助教授

ピーター・フランクル 数学者/大道芸人